

1-1 設計概要・設計趣旨



災害対策本部室



避難所エリア通路

デジタル防災センターは、むつ市の災害対応において、情報の収集・分析・発信の機能向上を図り、関係機関との強い連携体制を構築するため、むつ市本庁舎の開放エリアに整備します。

また、避難所や防災倉庫も併せて整備し、市民の安全・安心な暮らしを支える防災拠点として、以下のコンセプトに基づいた計画とします。

1. 災害時の迅速な初動確保を可能とする平面ゾーニング

有事の際に、情報収集、指揮命令の拠点となる「デジタル防災センター」と避難所として機能する「避難所エリア」を明確に分離するゾーニングとすることで、効率的な災害対応活動を展開することを可能とする計画とします。



2. 日常の多様な活動の場としても機能する「多目的ホール」

避難所エリアに配置する多目的ホールは、災害時には避難所として機能するほか、平時は、周囲の会議室と併せて使用することで、健診やイベントなどの幅広い活動の場として機能し、また、会議室は、個室での対応が必要な方の避難場所としても機能する計画とします。

